

4 忠清南道議会表敬

(1) 日 時 平成25年10月16日(水) 9:10~9:40

(2) 場 所 忠清南道議会(忠清南道洪城(ホンソン)郡)

(3) 参加者

熊本県議会 佐藤雅司副議長、鬼海洋一議員、大西一史議員、池田和貴議員、
田代国広議員、緒方勇二議員、甲斐正法議員、議会事務局

忠清南道議会 金奇泳道議会副議長、李鐘和道議会議員(農水産経済委員)

(4) 概要

○ 金奇泳道議会副議長あいさつ

- ・ 佐藤雅司副議長をはじめとする熊本県議会の皆様、忠清南道210万道民を代表し、歓迎のあいさつを申し上げます。
- ・ 忠清南道議会は1952年に開院し、現在第9代議会を構成、イ・ジュンウ議長をはじめとする42人の議員が、各常任委員会などで議政活動を行っている。
- ・ 昨年12月から、内浦新都市の新庁舎に移転したが、今日は佐藤雅司副議長をはじめとする議員の皆様の訪問により、この庁舎も大変輝いているように思う。
- ・ 2年前の福島原発事故から、日本国内の復旧活動も行われていると聞いているが、忠清南道からも一日も早く復旧が終わることを願っている。
- ・ これからも忠清南道と熊本県の積極的な友好交流活動について、私ども議会のレベルからも積極的に支援したい。
- ・ 姉妹提携30周年記念でお越しいただいたように、安熙正道知事は、11月8日から10日まで日本を訪問する予定であり、活発な友好交流を通じて、忠清南道と熊本県の行政及び経済活性化や地域文化芸術の継承の発展のためのきっかけになることを期待している。
- ・ 最後まで有意義な交流、訪問になるよう心から祈念する。

○ 佐藤副議長あいさつ

- ・ 熊本県と忠清南道との姉妹提携30周年という記念すべき年に道議会を訪問することができ大変うれしく思っている。
- ・ 新しい道議会を訪問し、忠清南道の新しい、躍動の息吹を感じた。道議会庁舎の完成を心からのお祝いと、このような立派な議会にお招きをいただいたことに感謝をしたい。今後、新しい庁舎、道議会を中心に、新都市が大きく発展していくものと確信し、今後の繁栄を祈っている。
- ・ 熊本県議会としても、日韓交流の促進を図るため、約40名からなる日韓友好議員連盟を組織し、交流の促進を図ってきたところである。
- ・ この議員連盟を中心に、引き続き、県議会、道議会一層の交流促進にも努めてまいりたい。
- ・ 最後に、今回の姉妹提携30周年記念行事を通じ、両県、道議会がさらに交流を深め、相互に発展することを祈念して、御挨拶とする。

- 両副議長のあいさつの後、阿蘇をはじめとした熊本の観光、東日本大震災における福島第一原発事故に伴う影響、熊本及び忠清南道の農業の現状などについて意見交換を行った。



